

【人口・労働経済】 松浦 司 ゼミ



演習テーマ： 応用計量経済学

本ゼミでは、応用計量経済学について勉強しています。応用計量経済学とは、データを使って経済の構造を解き明かす学問です。本ゼミでは最終的にデータ分析をした卒業論文を書くことを目的とします。卒業論文では、人口問題、労働経済、企業分析、年金や医療、教育、格差、金融、財政を問わず、自分が興味を持ったテーマについて、ミクロ経済学やマクロ経済学といった理論を使って説明し、データに基づいて計量経済学的手法を用いて分析してもらいます。

<活動内容>

ゼミの目的は卒業論文を作成することです。そのために、3つのことを行います。第1に、統計学・計量経済学の理論を学習すると同時に、Excel や Stata や Gretl を使ってデータ解析の演習も行います。第2に、マクロ経済学やミクロ経済学のテキストを輪読します。第3に、経済財政白書を輪読し、ミクロ経済学、マクロ経済学フレームワークがどのように分析に使用されており、計量経済学や統計学によってどのような分析が可能であるかを理解します。

それと同時に各自の卒業論文のテーマを私と相談しながら決定し、2年生のときからそれぞれのペースで卒業論文の作成に着手してもらいます。作業が進んだら、逐次アポイントを取って相談に来て下さい。相談に来る方に対しては適宜指導を行いますが、そうでない方は放任主義とします。ただ、指定された時期(目安として、2年生の3月までに5000字、3年生の3月までに12000字)に論文の草稿が書けない責任は各自に負っていただきます。

<ゼミ紹介>

私のゼミでは統計学・計量経済学の「理論をある程度わかったうえ」で実際にデータ分析に活用することを目的とします。確かに、Excel の使い方を覚えれば何らかのデータ分析はできます。しかしながら、理論を理解せずに分析すると、時として間違ったデータ分析をしてしまう可能性があります。そのために理論に対する知識は必要です。データに基づいた分析を身につけることは、企業、官公庁、シンクタンクで働くときにも役に立ちます。

今年の卒業生の進路は、日本銀行、東京都、キャノンプロダクションプリンティングシステムズ、三井不動産ファシリティーズ、大正富山医薬品、フューチャーアーキテクト、ベイカレント・コンサルティング、ホロンシステム、フコク情報システム、巣鴨信用金庫です。